春日井市
助成金活用事例集

ver.1.0

春日井市には、事業者の方向けの助成金が豊富にあり、
その種類は県内でもトップクラス！

この助成金活用事例集では、その中でも**使いやすい**
8種類の助成金を事例イメージで紹介しています。

ぜひご覧いただき、助成金活用の一助としてください！

もくじ

設備投資事業助成金…P1
デジタル化事業助成金…P1
BCP関連事業助成金…P2
NEW 製造現場環境改善事業助成金…P2
産学共同研究等事業助成金…P3
特許取得事業助成金…P3
展示会出展事業助成金…P4
研修事業助成金…P4

書のまち春日井「道風くん」

①設備投資事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

ページID 1020609

生産性や競争力の向上を図るため、製造業者又は物流業者が行う、春日井市内の事業所への生産機械等の設備導入を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市で製造業を営むA社は、5月にマシニングセンタやレーザー加工機、プレス機など合計1億円分の設備を市内工場に導入しました。

春日井市の設備投資事業助成金は導入後でも認定申請期限を守れば助成の対象になるので、その年の9月末までに認定申請を済ませ、翌年の4月に交付申請を行い、助成金の交付を受けました。

投資額		減価残存率		固定資産評価額
100,000,000円	×	89.7%	＝	89,700,000円

固定資産評価額		助成率		助成額
89,700,000円	×	5%	＝	4,485,000円

※減価残存率は機械の耐用年数によって異なります。上記は、耐用年数10年の場合です。
※本助成金の対象は、製造業者又は物流業者に限ります。

②デジタル化事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

ページID 1034111

生産性の向上を促進するため、事業者が実施するデジタル化のための業務システムの導入や開発、改修への投資を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市の中小企業のB社は、従業員の出退勤をタイムカードで管理していましたが、効率化のために出退勤のデジタル管理システムの導入を検討していました。また、すでにデジタル化した生産管理についても、更なる効率化を目指し、新システムの導入を検討していました。

そこで、春日井商工会議所の専門家派遣を活用し、専門家の診断を受けた上でソフトウェアを購入し、デジタル化事業助成金を利用しました。

購入費用（アナログ⇒デジタル）		助成率		助成額
200,000円	×	50%	＝	100,000円

購入費用（デジタル⇒デジタル）		助成率		助成額
1,000,000円	×	20%	＝	200,000円

※システム導入前にその業務をアナログで行っていたかどうかで、助成率等が異なります。
※ハードウェアに係る費用は助成対象外です。　※本助成金の対象は、中小企業者に限ります。
※事前に春日井商工会議所の専門家派遣を受けることが必要です。

③ＢＣＰ関連事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

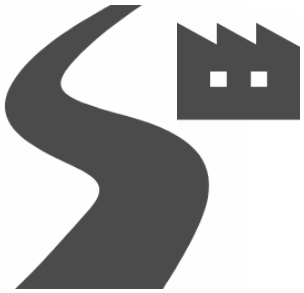
ページID 1020610

災害時の事業継続体制の整備を促進するため、BCPや事業継続力強化計画の策定、計画に基づく防災設備の整備を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市内のとある河川の近くにあるC社は、激しい風水害による事業への影響を危険視しており、何か対策を立てなくてはいけないと思っていました。

そこで、BCPの策定を専門家に委託し、その委託料についてBCP関連事業助成金を利用しました。また、BCPに基づく防災設備である発電機についても、同助成金の認定を受けてから購入し、同助成金の交付を受けました。



委託料 500,000円	×	助成率 50%	＝	助成額 250,000円
設備購入費用 3,000,000円	×	助成率 20%	＝	助成額 600,000円

※BCP又は事業継続力強化計画の策定又は改定と、設備の整備の助成率は異なります。
※どちらか一方でも利用可能です。

④製造現場環境改善事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

ページID 1039143

人材確保や生産性の向上を促進するため、事業者が実施する製造現場の気温対策設備及び粉じん対策設備への投資や改修等を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市で製造業を営む中小企業のD社は、従業員が働きやすい職場環境を求める中で、製造現場において、夏の暑さや粉じん対策に悩んでいました。

そこで、エアコンと換気設備を追加導入することに決め、製造現場環境改善事業助成金の認定を受けてから導入し、同助成金の交付を受けました。

エアコン・換気設備 導入費用 2,500,000円	×	助成率 20%	＝	助成額 500,000円

※本助成金の対象は、製造業の中小企業者に限ります。

⑤産学共同研究等事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

ページID 1020614

研究開発等を促進するため、大学又は研究機関との共同開発等の委託等を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市でとある事業を営むE社は、自社の２本目の事業の柱として食品製造分野へ新規参入をするべく、新たな企画を立ち上げましたが、食品分野の製品開発のノウハウがなく、苦戦していました。

そこで、大学に製品の研究開発を委託して共同で企画を進めることで、学術的な知見に基づく助言を得ながら、実験等を踏まえた信頼性の高い製品の開発を行い、その委託料について、産学共同研究等事業助成金を利用しました。

大学への委託料		助成率		助成額
1,000,000円	×	50%	＝	500,000円

※新規開発だけでなく、自社の既存製品の計測や耐久試験等の委託等にも利用可能です。

⑥特許取得事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

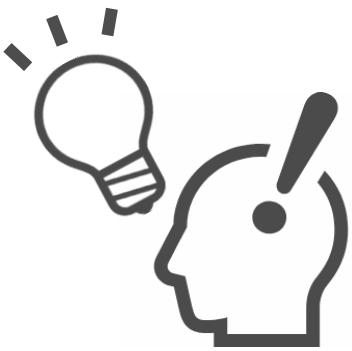
ページID 1020615

知的財産の保護又は活用を図ることにより、発明や考案、他事業者の参入対策を奨励するため、特許の出願等を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市の中小企業のF社は、自社の製品やその製造の手法に関して特許を取得したいと思っていましたが、弁理士費用が嵩むため、その出願に踏み切れずにいました。

そこで、特許出願後に特許取得事業助成金を利用することとし、費用負担を軽減して特許を取得し、自社の製品の競争力強化を図りました。



特許の出願手数料及び弁理士への手数料や報酬		助成率		助成額
200,000円	×	50%	＝	100,000円

※弁理士等への支払いが生じていないものは助成対象外です。
※本助成金の対象は、中小企業者に限ります。

⑦展示会出展事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

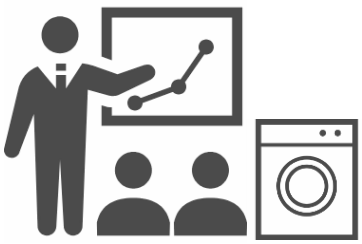
ページID 1020619

販路拡大を促進するため、BtoBを目的とする展示会出展等を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市で事業を営むG社は、自社の製品について販路拡大のため、名古屋市で行われる大型の展示会への出展を検討していましたが、小間料が非常に高く、なかなか出展に踏み切れずにいました。

そこで、展示会出展後に展示会出展事業助成金を利用することとし、費用負担を軽減して大型の展示会に出展し、効率的に販路拡大を図りました。



展示会小間料		助成率		助成額
1,000,000円	×	50%	＝	500,000円

※出展の際に展示販売等を行わない、主たる目的がBtoBである展示会が対象です。

⑧研修事業助成金

詳細は春日井市のホームページをチェック👉

ページID 1020617

人材の育成を促進するため、従業員や経営者の各種研修の受講を支援する助成金です。

活用事例イメージ

春日井市で製造業を営む中小企業のH社は、従業員１名を、春日井商工会議所が主催するフォークリフト運転技能講習へ参加させました。また、別の従業員１名を、民間企業が主催する生産管理スキルアップ研修に参加しました。そして、それぞれの研修について研修事業助成金を利用しました。

公的研修受講料		助成率		助成額
10,000円	×	50%	＝	5,000円
民間研修受講料		助成率（従業員）		助成額
30,000円	×	20%	＝	6,000円

※公的研修と民間研修は、助成率が異なります。※本助成金の対象は、中小企業者に限ります。
※民間研修に係る助成対象は、受講者が製造業又は物流業の事務所に主に勤務している方であるものに限ります。

春日井市には他にも様々な助成金があります！
詳しくは二次元コードから
春日井市 企業支援ガイド をチェック！

▼企業支援ガイド

助成金やセミナーの情報など
事業者の皆様のお役に立つ情報を
メールマガジンで配信しています！
春日井市公式LINEでも受け取ることができます！

▼メールマガジン

▼春日井市公式LINE

※友達追加後、セグメント受信設定で
「事業者向け」を選択してください

【発行・問い合わせ先】
春日井市 産業部 企業活動支援課　☎0568-85-6247　✉kigyo@city.kasugai.lg.jp

発行日　令和８年４月１日